

R I 第 2820 地区

水海道ロータリークラブ

2009-2010年度 テーマ

増やそう 新しい仲間たち！
開こう 未来への扉を！



2009-2010 年度 R I 会長
ジョン・ケニー

次回例会予定 5月19日 地区協議会報告
5月26日 外部卓話

VOL. 47 No. 34 (通算No. 2236)

2010年5月12日(水)例会プログラム

点 鐘

君が代・ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

PETS、地区協議会報告



「こいのぼり」

写真提供：染谷正美会員

2009 - 2010年度

会長 田 上 秀 雄

幹事 武 藤 康 之

創立 1963年9月25日

例 会 場 ・ 例 会 日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30 0297-22-1251

事 務 所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.47 No.33 (No.2235) 4月21日(水)晴れ (司会 斎藤広巳委員長)

本例会での主な事項

会長挨拶

外部卓話

常総市長 長谷川典子様

ピジター

常総市長 長谷川典子様

幹事報告 武藤康之幹事

週報受理クラブ 水戸RC、水戸南RC、水戸東RC、水戸西RC

例会変更通知 なし

会長挨拶 田上秀雄会長



皆さん、こんにちは。本日は常総市市長、長谷川典子様ようこそいらっしゃいました。会員一同心よりご歓迎申し上げます。市長さんには後ほど卓話をしていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

今日は、先日行われた常総市千姫祭りに因み、千姫について少しお話致します。

千姫は慶長2年(1597年)、秀忠と江の長女として生まれ、慶長8年(1603年)に7歳で秀頼と結婚し、大坂城に入りました。秀頼とはたいへん夫婦仲睦まじかったといひます。慶長20年(1615年)19歳の時、大坂夏の陣では、祖父である徳川家康の命により落城する大坂城から救出されました。元和2年(1616年)、桑名藩・本多忠刻と結婚し同年9月26日に桑名城に入城。翌年の元和3年(1617年)、本多家が姫路城に移り、翌元和4年(1618年)には長女・勝姫、元和5年(1619年)には長男・幸千代が生まれましたが、3歳で亡くなり後は子宝に恵まれず身の回りに不幸が続き、本多家を娘・勝姫と共に出て江戸城に入城、その後、出家して天樹院となりました。出家後は娘と二人で竹橋の邸で暮らしました。勝姫が嫁いだ後、寛文6年(1666年)、江戸で死去。小石川傳通院に納められ墓所は傳通院と茨城県常総市の天樹院弘経寺にあります。また徳川家(松平家)が三河時代から帰依していた浄土宗の総本山である京都の知恩院に定例により分骨され宝塔に納められたとのことです。

千姫ゆかりの歴史ある地、常総市で私達もロータリークラブ会員として奉仕活動に一層力を入れてまいりたいと思います。皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

理事会の報告をさせていただきます。

新会員推薦の件

- ・ 雨谷道夫氏 サトミ金属 代表取締役
- ・ 砂長秀和氏 博報社 代表取締役

異議のある方は文書で7日以内に幹事までお願いします。



外部卓話 常総市長 長谷川典子様



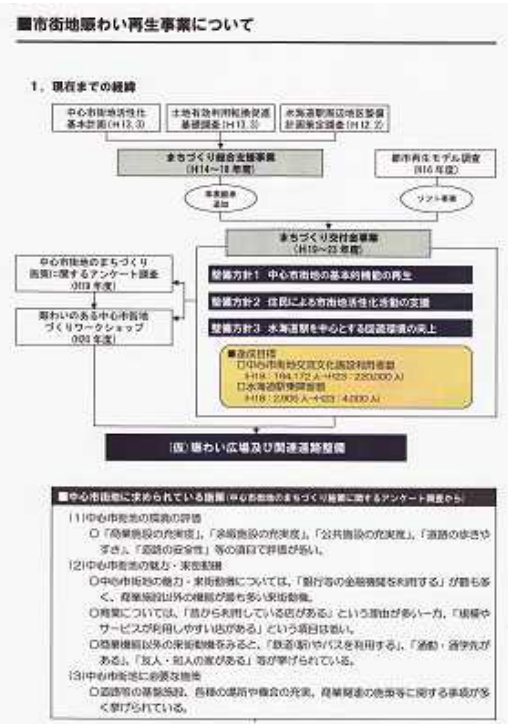
平成22年度 常総市の予算

一般会計予算は209億5,000万円

平成22年度の市の予算が1月定例会議で決定しました。予算の規模は、一般会計が209億5,000万円（21年度に比べて6,970万円）、国庫補助金等110億の特別会計164億8,056万5,000円（21年度に比べて0,870万円）との合計は、374億3,356万9,000円となりました。

市長 長谷川 典子

本市を代表する、地方自治体としての責任と使命を全うし、市民の暮らしを支え、未来を担うこと。そのために、市民の暮らしを支え、未来を担うこと。そのために、市民の暮らしを支え、未来を担うこと。



2. 事業の背景と目的

市街地の活性化事業に取り組んでいますが、店舗や住宅の空洞化が課題となっています。市街地に係る意向調査では、銀行等に似た賑わいをもたらす場所や休憩場所等が求められています。

「都市計画マスタープラン」では、若い世代から、水海道市街地に「市長が笑顔になれる場所があると良い」等の意見が出されました。

「市街地賑わい再生事業ワークショップ」(H22.11~12)

中心市街地の賑わいづくりのためには、「広場や公園等の人が集まる空間が必要」という意見が出され、「市民が気軽に立ち寄り、交流を促す拠点」づくりを進めることとしました。

3. 市街地賑わい再生事業の構成

本事業は、まちづくり交付金を活用して次のような事業により構成します。

事業名	事業の内容
賑わい広場整備(市民生活支援)	○商店は子供の安全な遊び場、干ばつや大雨や台風等の際の避難、高齢者等のイベントが行えるよう広場を整備します。 ○中心市街地に集まる人が利用できる軽便車や自転車に使えるトイレ、休憩所等を整備します。
(広場)交流広場施設(市民生活支援)	○子育て世代、学生、高齢者等が集まり交流する場として、「広場」と既存の店舗を活用した大きな空間を活用「交流広場施設」を整備します。
水海道駅前地区整備(市民生活支援)	○国道354号から国道大通りへの新たな動線を確保します。

2. 市街地賑わい再生事業の基本的な考え方

本事業は、次のような考え方に基き本事業を進めます。

新しい「街に求める目的」を創出します

市民活動、子育て支援、世代交流等をきっかけとして、市民と街との新たな関わりを創出します。

賑わいの賑わいづくりの核を創出します。

干ばつ、ワールドフェスタ等、これまでの賑わいづくりの活動を充実させる拠点を創出します。

賑わいに伴う「課題解決」する場所を創出します。

若い世代、高齢者等への対応の観点に「賑わい創出する」場所を提供します。

常総市の資源を生かしたまちづくりを推進します。

市街地の歴史を創出拠点、観光産業、事業活動、地域の資源や人材を活用・発掘する場を創出します。

賑わいのサービス提供を充実させます。

休憩の場、駐車場、トイレ等、これまで課題が多かった施設の整備を行います。

4. 市街地賑わい再生事業基本計画(案)

(1)賑わい広場整備事業

- 国道354号から国道大通りへの動線を確保するための新設道路を中心に広場を創出します。
- 道路両側の広場は、イベント等の開催ができる役割とともに、一時的な集客としての機能を果たす役割とします。一方、西側の広場は、非日常の賑わいを創出して、子供が遊べる空間とします。

(2)市道整備事業

- 国道354号から国道大通りへの動線を確保するための新設道路を確保します。この道路は歩行者優先とし、安全に配慮した道路とします。新設道路は8m、既存道路は6mで整備します。

(3)「広場」交流広場施設

- 交流広場施設は、水海道市街地の資源活用を促進するため、既存の店舗を活用して整備します。
- 基本的な機能としては、市民活動、子育て支援、休憩・交流広場等の機能を導入します。
- これらの詳細な内容については、今後、計画書とともに詳細計画書等にエッジ等を先行し、交流広場の施設は、水海道市街地の資源活用を促進するため、既存の店舗を活用して整備します。

■交流広場の施設構成

導入施設	設置する内容
市民活動センター	○施設管理機能(事務室、ボランティア受付等) ○市民生活支援機能(作業室、コピー、メールボックス等)
交流サロン	○高齢者や高校生をはじめとした市民が交流する場
子育て支援ルーム	○子育て世代を支援する場
夜間・トイレ・哺乳室	○子供利用トイレの設置 ○設置した仮設トイレの設置
商業	○子ども・チャレンジショップ
その他	○観光案内所・観光室

